

令和4年度事務事業評価シート（令和3年度決算）

事業コード	640 - 2 -	作成者氏名	野村 大泰	連絡先	74-3007
事務事業名	牛島保健衛生事業	担当課	健康増進課		
予算費目	一般会計	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費
第2次 総合計画	基本目標	コード	3	項目	安全・安心に包まれて人が心ゆたかに暮らすまち 心ゆたかに暮らすために 地域医療体制の充実
	重点目標	1			
	政策	5			
					第2次総合計画 132頁

対象	牛島地区の住民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	一次医療、救急医療へのアクセスを確保し、適切な医療を受けられるようにする。
事務事業の概要	牛島地区で救急患者が発生した場合に、本土への搬送費を補助 牛島診療所の運営費		

事務事業の成果指標	単位	2年度実績	3年度			6年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
救急患者搬送回数	回	0	0	-	-	-	
牛島診療所一日当たりの受診者数	人	5.1	5.3	-	-	-	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）				業務評価	重点業務	
		指標名 事業費	単位	2年度実績 2年度決算	3年度実績 3年度決算			4年度目標 4年度予算
1	牛島救急患者搬送事業 ●	搬送回数 事業費	回 千円	0 0	0 0	- 99	A	
2	牛島診療所管理事業 ●	受診者 事業費	人 千円	254 2,701	244 2,718	- 3,548	A ◎	
3		事業費	千円					
4		事業費	千円					
5		事業費	千円					
6		事業費	千円					
7		事業費	千円					
8		事業費	千円					
9		事業費	千円					
10		事業費	千円					
11		事業費	千円					
12		事業費	千円					
13		事業費	千円					
14		事業費	千円					
15		事業費	千円					
直接事業費の合計（千円）				A	2,701	2,718	3,647	
職員人件費等		業務量（人工数）			0.40人	【業務評価】		
		人件費（千円）		B	2,881	A：達成済 目標水準プラス見直し B：実施手法の要改善		
人件費を含む総事業費（千円）				A + B	5,599	C：目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し D：業務廃止・完了の意向 E：3年度を以て廃止・終了 F：一時的に実施無し		
財源内訳		国庫支出金						
		県支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源			5,599			

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
この2つの業務は牛島地区住民の安心を確保する重要な役割を果たしているため。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 救急搬送については、事業の認知が十分され、緊急時の住民の協力体制が構築されており、住民の安心につながっている。牛島診療所については、開所日1日当たり5人程度の受診があり、一次医療を行う診療所として機能している。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 一次医療、救急医療に対応するための業務の構成となっており、適切な組合せと考える。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 へき地医療は市の役割であるため、市が行うのは妥当である。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	田中 満喜	最終評価責任者 （部長名）	松村 雄之
--------------------	-------	------------------	-------

令和4年度事務事業評価シート（令和3年度決算）

事業コード	510 - 2 -	作成者氏名	森田 豊	連絡先	0833-72-1466
事務事業名	畜犬猫管理事業	担当課	環境政策課		
予算費目	一般会計	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費
				目 2	予防費
第2次総合計画	基本目標 重点目標 政策	コード	項目	体系外	
					第2次総合計画 頁

対象	市民、犬・猫の飼い主及び犬・猫が関係する問題に悩む市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	狂犬病予防法に基づき、飼い犬の情報管理や狂犬病予防注射の推進に取り組み、接種率の向上につなげる。また、犬の飼い方教室や、犬・猫に係る住民相談への対応を通して、飼い主のマナーの向上を図る。
事務事業の概要	獣医師会と連携した狂犬病予防集合注射の実施及びその啓発活動を実施するとともに、飼い犬の登録事務を行う。また、「犬の飼い方教室」を開催し、犬の適正飼養の推進及びマナー意識の向上を図る。そのほか、犬猫に係る市民からの苦情・相談に対応するとともに、捕獲した野犬や回収された野良猫を保健所へ運搬する等、生活環境の改善に向けた業務を実施。		

事務事業の成果指標	単位	2年度実績	3年度			6年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
登録犬の予防注射接種率	%	80.3	82.7	85	97.2%	83	
飼い犬・飼い猫に係るマナーに関する苦情・相談件数	件	4	2	-	-	0	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）					業務評価	重点業務
		指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度目標		
		事業費	単位	2年度決算	3年度決算	4年度予算		
1	飼い犬情報管理業務	犬の登録数	頭	2,372	2,325	2,325	A	○
		事業費	千円	389	123	392		
2	狂犬病予防注射業務	注射件数	頭	1,905	1,923	2,100	B	◎
		事業費	千円	347	198	335		
3	犬の飼い方教室	参加人数	人	0	16 (うち光市5)	20 (うち光市6)	A	
		事業費	千円	3	17	19		
4	犬、猫に関する苦情・相談対応業務	苦情・相談件数	件	13	12	0	A	○
		事業費	千円	97	147	66		
5	野犬・野良猫の引取り及び運搬業務	引取り数	頭・匹	37	30	0	A	
		事業費	千円	332	236	144		
6	飼い犬・飼い猫の引取り及び運搬業務	引取り数	頭・匹	0	0	0	A	
		事業費	千円	0	0	0		
7	迷い犬、迷い猫捜索業務	相談件数	件	14	14	0	A	
		事業費	千円	0	0	0		
8	山口県動物保護管理協会負担金	主催行事出席回数	回	0	0	1	A	
		事業費	千円	40	40	41		
9		事業費	千円					
10		事業費	千円					
11		事業費	千円					
12		事業費	千円					
13		事業費	千円					
14		事業費	千円					
15		事業費	千円					
直接事業費の合計（千円）				A	1,208	761	997	
職員人件費等		業務量（人工数）			0.95人	【業務評価】		
		人件費（千円）		B	4,627	A：達成済 目標水準プラス見直し B：実施手法の要改善 C：目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し D：業務廃止・完了の意向 E：3年度を以て廃止・終了 F：一時的に実施無し		
人件費を含む総事業費（千円）				A + B		5,388		
財源内訳		国庫支出金						
		県支出金						
		地方債						
		その他				1,543		
		一般財源				3,845		

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
<p>狂犬病予防法に基づく狂犬病予防注射は、市民の健康・安全を守るため、最重点化業務とするとともに、注射情報や飼い犬の登録などの情報管理については重点化業務としている。</p> <p>また、犬猫に関する苦情・相談への対応については、人命や生活衛生環境の悪化にも繋がることから、早期に解決を図る必要があるため、重点化業務に設定している。</p>

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	<p>成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。</p> <p>犬の新規登録については、動物病院等の協力のもと適正に実施されている。</p> <p>狂犬病予防注射については、厚生労働省による令和2年度の接種率調査では全国平均が70.2%、山口県平均78.2%となっており、当市の接種率はいずれも上回っているが、業務の目的を鑑み、接種率の更なる向上に努めていきたい。</p> <p>飼い犬や飼い猫に係るマナーに関する苦情や相談件数は少ないが、深刻化するケースもあることから、迅速に対応することにより、早期に状況が改善するよう努める。</p>
業務構成の有効性	<p>事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。</p> <p>狂犬病予防法に基づく業務と犬猫の適正管理を推進する業務で構成されており、適切である。</p>
実施主体の妥当性	<p>事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。</p> <p>野犬の捕獲や飼い犬等の苦情対応については、法律及び条例において、県と協働して行う業務となっている。また、猫の飼養については法律による規制はないが、マナー違反等の苦情もあり、住民からの相談等に迅速に対応するためには、市が初動対応する必要があるため、現状における市の役割は適切である。</p>

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 (課長名)	周田 祐子	最終評価責任者 (部長名)	森重 哲昌
--------------------	-------	------------------	-------

令和4年度事務事業評価シート（令和3年度決算）

事業コード	640 - 5 - 1	作成者氏名	小熊 紀美恵	連絡先	0833-74-3007
事務事業名	健康増進事業（計画推進・相談・運動）		担当課	健康増進課	
予算費目	一般会計	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費
第2次 総合計画	基本目標	コード	3	項目	安全・安心に包まれて人が心ゆたかに暮らすまち 心ゆたかに暮らすために 健康づくりの推進
	重点目標	1			
	政策	2			
					第2次総合計画 124頁

対象	市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	健康の保持増進、健康寿命の延伸を図る。
事務事業の概要	「光市健康づくり推進計画」に基づき、計画の推進を図る。また、健康増進事業での健康相談の実施や市民の運動習慣づくりを支援し、市民の健康の保持増進を図る。		

事務事業の成果指標	単位	2年度実績	3年度			6年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
普段から健康に心がけている市民の割合	%	84.9	85.1	95	89.6%	95	
週1回以上スポーツをしている市民の割合	%	48.5	48.6	55	88.4%	55	
光のあるくろードウォーキングラリー踏破認定証交付数	件	89	81	100	81.0%	100	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）				業務評価	重点業務	
		指標名 事業費	単位	2年度実績 2年度決算	3年度実績 3年度決算			4年度目標 4年度予算
1	健康づくり推進計画策定・推進	協議会等出席者数	人	39	19	23	A	○
		事業費	千円	1,189	310	78		
2	健康相談	相談者数	人	652	526	600	A	
		事業費	千円	112	3,207	76		
3	光のあるくろードウォーキングラリー	累計登録者数	人	815	829	840	B	
		事業費	千円	14	21	181		
4	ひかり健康・環境・観光ウォーキングマップの普及啓発	ウォーキングラリー踏破認定証交付数	人	89	81	100	A	
		事業費	千円	484	8	8		
5	セルフチェック応援事業	記録帳配付数	人	175	95	150	B	
		事業費	千円	5	5	5		
6	光健康マイレージ事業	特典カード発行数	人	64	41	100	B	
		事業費	千円	10	10	10		
7	みんなt oウォーキング事業	投稿数	枚		60	200	A	◎
		事業費	千円		85	3,460		
8	食育推進事業（光の恵みde朝ごはん事業）	事業参加件数	件	919	548	700	A	○
		事業費	千円	239	210	276		
9	歯の健康相談	相談実施件数	件	291	286	200	A	
		事業費	千円	136	97	0		
10	歯の無料健診と相談	来場者数	人	0	0	0	—	
		事業費	千円	0	0	0		
11	出前講座（歯科保健）	実施回数	回	1	3	3	A	
		事業費	千円	3	3	0		
12		事業費	千円					
13		事業費	千円					
14		事業費	千円					
15		事業費	千円					
直接事業費の合計（千円） A				2,192	3,956	4,094		
職員人件費等		業務量（人工数）			1.55人	【業務評価】		
		人件費（千円） B			10,444	A：達成済 目標水準プラス見直し B：実施手法の要改善		
人件費を含む総事業費（千円） A+B					14,400	C：目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し		
財源内訳		国庫支出金			1,815	D：業務廃止・完了の意向		
		県支出金			137	E：3年度を以て廃止・終了		
		地方債				12	F：一時的に実施無し	
		その他						
		一般財源			12,436			

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
運動習慣者の増加が課題となっているため令和4年度に拡充して行う「みんなtoウォーキング事業」を最重点業務とした。また、1「健康づくり推進計画策定・推進」は、「光市健康づくり推進計画」に基づき中間評価で整理した健康づくりの課題の改善に向けて、各種健康増進事業を引き続き推進していく必要があることから重点化業務とした。8「食育推進事業（光の恵みde朝ごはん事業）」では、朝食欠食改善が課題となっていることから重点化業務とした。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	<p>成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。</p> <p>「光市健康づくり推進計画」に基づき各種健康増進事業を推進している。各事業を関連付けて実施することで啓発効果を高めている。また、事業展開の工夫を図りながら事業をすすめているところである。しかし、令和2年度からは新型コロナウイルス感染症の流行で、事業実施を変更・中止するなど影響を受けている。今後も、広く市民全体に健康づくりを推進していくため、感染症対策を講じながら、さらに関係機関や団体等と連携した取り組みが必要と考える。</p>
業務構成の有効性	<p>事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。</p> <p>健康増進法、食育基本法に基づく各種事業を展開しており、適切である。</p>
実施主体の妥当性	<p>事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。</p> <p>健康増進法、食育基本法に基づき策定した、光市健康づくり推進計画に基づく健康増進事業であり、市が行うのは妥当である。</p> <p>また、市民協議会や各関係団体、事業者などの協力を得ながら行っており、妥当である。</p> <p>なお、一部は健康増進事業補助金（県2/3）対象となっている。</p>

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	田中 満喜	最終評価責任者 （部長名）	松村 雄之
--------------------	-------	------------------	-------

令和4年度事務事業評価シート（令和3年度決算）

事業コード	640 - 5 - 2	作成者氏名	小熊 紀美恵	連絡先	0833-74-3007
事務事業名	健康増進事業（心の健康づくり事業）		担当課	健康増進課	
予算費目	一般会計	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費
				目 3	保健指導費
第2次 総合計画	基本目標	コード	3	項目	安全・安心に包まれて人が心ゆたかに暮らすまち 心ゆたかに暮らすために 健康づくりの推進
	重点目標		1		
	政策		2		
					第2次総合計画 124頁

対象	市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	ストレスや心身の不調など、心の健康問題の早期発見、早期対応を図り、適切な支援につなげられるようにする。
事務事業の概要	「光市健康づくり推進計画」に基づき、心の健康教育、健康相談等の事業を自殺対策事業と併せて展開し、心の健康づくりの推進を図る。		

事務事業の成果指標	単位	2年度実績	3年度			6年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
ゲートキーパー研修参加者数	人	147	288	50	100.0%	100	
心の健康相談 相談件数	件	24	37	50	74.0%	45	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）					業務評価	重点業務
		指標名 事業費	単位	2年度実績 2年度決算	3年度実績 3年度決算	4年度目標 4年度予算		
1	睡眠キャンペーン・かかりつけ医の不眠相談	リーフレット全配布枚数	枚	23,000	2,000	2,000	A	
		事業費	千円	223	70	69		
2	心の健康相談・癒しのカウンセリング	相談件数	件	24	12	46	B	○
		事業費	千円	49	65	187		
3	産後うつ予防事業	相談実施件数	件	282	236	240	A	
		事業費	千円	0	0	0		
4	ゲートキーパー研修	参加者数	人	147	288	460	A	○
		事業費	千円	50	124	370		
5	心の健康出前講座	実施回数	回	0	0	5	A	
		事業費	千円	0	0	0		
6	こころの体温計	アクセス件数	件	9,485	10,088	10,000	A	
		事業費	千円	58	58	126		
7	自殺対策計画の策定・推進	協議会等出席者数	人	31	13	18	A	◎
		事業費	千円	2	20	6		
8		事業費	千円					
9		事業費	千円					
10		事業費	千円					
11		事業費	千円					
12		事業費	千円					
13		事業費	千円					
14		事業費	千円					
15		事業費	千円					
直接事業費の合計（千円）				A	382	337	758	
職員人件費等		業務量（人工数）			1.15人	【業務評価】		
		人件費（千円）		B	7,923	A：達成済 目標水準プラス見直し B：実施手法の要改善 C：目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し D：業務廃止・完了の意向 E：3年度を以て廃止・終了 一：一時的に実施無し		
人件費を含む総事業費（千円）				A+B		8,260		
財源内訳		国庫支出金						
		県支出金			151			
		地方債						
		その他						
		一般財源			8,109			

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
令和元年度に「自殺対策計画」を策定し、令和2年度より自殺対策を総合的に推進していることから、7「自殺対策計画の策定・推進」を最重点化業務とした。また、健康づくり推進計画中間評価においてストレス対策が課題とされており、心の健康問題に対して、随時相談できる場の確保が重要なことから、2「心の健康相談・癒しのカウンセリング」、自殺対策計画の評価指標として、ゲートキーパー研修の受講者の増加を目標として掲げているため、4「ゲートキーパー研修」を重点化業務とした。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 「健康づくり推進計画」の健康づくりのための4つの要素のひとつに位置づけている「なごむ（こころの健康・休息）」自殺対策計画の自殺対策を一体的に推進している。心の健康問題に対して、相談やゲートキーパー養成、ホームページでの啓発など様々な方法からアプローチができています。心の健康問題は、様々な年齢に、様々な要因から生じること、また、毎年、一定数の自殺者が報告されていることから引き続き、関係機関等と連携し、取り組む必要がある。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 若い世代から幅広い方を対象としており、内容も予防から心身の不調のある方まで対応するさまざまな業務で構成されており、適切であると考えます。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 健康増進法や自殺対策基本法に基づき、自殺対策や心の健康保持に関する施策を行うことが市の責務であるため、市が行うことは妥当である。 自殺対策計画策定において、関係機関や関係団体との連携を持ち、自殺対策や心の健康づくり事業を展開していくことが必要。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	田中 満喜	最終評価責任者 （部長名）	松村 雄之
--------------------	-------	------------------	-------

令和4年度事務事業評価シート（令和3年度決算）

事業コード	640 - 5 - 3	作成者氏名	小熊 紀美恵	連絡先	0833-74-3007
事務事業名	健康増進事業（食生活改善事業）		担当課	健康増進課	
予算費目	一般会計	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費
第2次 総合計画	基本目標	コード	3	項目	安全・安心に包まれて人が心ゆたかに暮らすまち 心ゆたかに暮らすために 健康づくりの推進
	重点目標	1			
	政策	2			
					第2次総合計画 124頁

対象	市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	食生活の正しい知識を得て食生活改善を図り、健康づくりを推進する。
事務事業の概要	健康増進法並びに「光市健康づくり推進計画」に基づき、食生活の正しい知識を得て食生活改善を図り、健康づくりを推進する。また、食生活改善地区組織活動の活性化を図る。		

事務事業の成果指標	単位	2年度実績	3年度			6年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
普段から健康に心がけている市民の割合	%	84.9	85.1	95	89.6%	95	
食生活改善推進員活動回数（グループ+個別活動）	件	10755	16685	9500	175.6%	9500	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）				業務評価	重点業務
		指標名 事業費	単位	2年度実績 2年度決算	3年度実績 3年度決算		
1	食生活改善推進員訪問活動	対話訪問活動 事業費	件 千円	22,915 950	35,150 950	9,500 950	A
2	食生活改善推進員研修	研修会参加率 事業費	% 千円	61 26	65 40	70 364	A ○
3	健康教室	健康教室参加者数 事業費	人 千円	900 265	1,300 353	800 318	A ◎
4		事業費	千円				
5		事業費	千円				
6		事業費	千円				
7		事業費	千円				
8		事業費	千円				
9		事業費	千円				
10		事業費	千円				
11		事業費	千円				
12		事業費	千円				
13		事業費	千円				
14		事業費	千円				
15		事業費	千円				
直接事業費の合計（千円） A				1,241	1,343	1,632	
職員人件費等		業務量（人工数）			1.15人	【業務評価】 A：達成済 目標水準プラス見直し B：実施手法の要改善 C：目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し D：業務廃止・完了の意向 E：3年度を以て廃止・終了 F：一時的に実施無し	
		人件費（千円） B			8,283		
人件費を含む総事業費（千円） A+B						9,626	
財源内訳		国庫支出金					
		県支出金			5		
		地方債					
		その他 一般財源				9,621	

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
食生活改善に関する正しい知識を市民に広く啓発するため、各地区で開催する3「健康教室」を最重点業務に、また、食生活改善推進員が充実した活動を継続できるよう2「食生活改善推進員研修」を重点化業務とする。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症の流行により、健康教室の開催等に制限があるなど影響があるが、感染対策を講じて対応している。食生活改善推進員の積極的な活動を支援することで、食生活改善に関する正しい知識を市民に広く啓発することができるため、引き続き、食生活改善推進員活動の充実が必要である。各年代での望ましい食生活習慣の獲得が必要であるが、特に若い世代からの食生活改善が課題となっており、食生活改善推進員と協力しながら、地域での地道な活動の継続や、健康増進事業との連携を図りながら効果的な事業展開を図る必要がある。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 健康教室の開催を通して、食生活改善推進員と連携して、より多くの市民への啓発が行える事業構成となっており、適切である。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 光市健康増進計画に基づく事業であり、市が行うのは妥当である。 また、食生活改善推進員と連携したより効果的な事業展開を進めている。 本事業は、健康増進事業補助金（県2／3）対象となっている。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	田中 満喜	最終評価責任者 （部長名）	松村 雄之
--------------------	-------	------------------	-------

令和4年度事務事業評価シート（令和3年度決算）

事業コード	640 - 8 -	作成者氏名	小熊 紀美恵	連絡先	0833-74-3007
事務事業名	歯科保健事業	担当課	健康増進課		
予算費目	一般会計	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費
				目 3	保健指導費
第2次 総合計画	基本目標	コード	3	項目	安全・安心に包まれて人が心ゆたかに暮らすまち 心ゆたかに暮らすために 健康づくりの推進
	重点目標		1		
	政策		2		
					第2次総合計画 124頁

対象	市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	歯と口腔の健康に対する意識を向上させる。う蝕、歯周疾患の早期発見、早期治療を促す。
事務事業の概要	乳幼児から高齢者まで、年代に応じた各種歯科保健事業を実施し、歯と口腔の健康に対する市民意識の向上及びう蝕、歯周病の早期発見、早期治療の促進を図り、歯科衛生の向上及び8020運動の推進を図る。		

事務事業の成果指標	単位	2年度実績	3年度			6年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
3歳児健診時のう蝕罹患率	%	17.1	16.0	20.0	100%	16.0	令和2年度山口県平均 15.8%
コンクールにおける8020達成表彰者数	人	0	0	0	0.0%	10	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）				業務評価	重点業務
		指標名 事業費	単位	2年度実績 2年度決算	3年度実績 3年度決算		
1	保育園・幼稚園・認定こども園歯科指導	指導実施人数 事業費	人 千円	1,016 20	1,015 14	1,100 55	A ◎
2	光市よい歯のコンクール	表彰者数 事業費	人 千円	0 0	0 0	0 140	— ○
3	口腔がん検診	受診者数 事業費	人 千円	97 218	84 195	100 294	B
4		事業費	千円				
5		事業費	千円				
6		事業費	千円				
7		事業費	千円				
8		事業費	千円				
9		事業費	千円				
10		事業費	千円				
11		事業費	千円				
12		事業費	千円				
13		事業費	千円				
14		事業費	千円				
15		事業費	千円				
直接事業費の合計（千円） A				238	209	489	
職員人件費等		業務量（人工数）			1.00人	【業務評価】 A：達成済 目標水準プラス見直し B：実施手法の要改善 C：目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し D：業務廃止・完了の意向 E：3年度を以て廃止・終了 —：一時的に実施無し	
		人件費（千円） B			7,203		
人件費を含む総事業費（千円） A+B					7,412		
財源内訳		国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他 一般財源				7,412	

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
8020の実現に向けて、乳幼児期からの口腔衛生に関する正しい知識の習得と習慣の確立は重要であることから、1「保育園・幼稚園・認定こども園歯科指導」を最重点化業務とした。また、生涯を通じた歯と口腔管理の普及啓発を図るため2「光市よい歯のコンクール」を重点化業務とした。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	<p>成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。</p> <p>3歳児健診でう歯のある子どもの割合が増加傾向にある。一人で複数のう歯を保有している児もあり歯の健康に対する意識の低い家庭へのアプローチが課題となっている。8020の実現に向けて乳幼児期から高齢期までの歯科保健事業について光市歯科医師会との連携を図りながら充実に努めていく必要がある。</p>
業務構成の有効性	<p>事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。</p> <p>乳幼児期から高齢者までを事業対象として実施しており、適切であると考ええる。</p>
実施主体の妥当性	<p>事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。</p> <p>歯科口腔保健の推進に関する法律及び「光市健康づくり推進計画」に基づく事業で、歯科保健の推進は市の責務であり、市が実施主体となることは妥当である。</p> <p>事業の実施においては、歯科医師会、歯科衛生士会、保育園、幼稚園等と連携した事業展開を図っている。</p>

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	田中 満喜	最終評価責任者 （部長名）	松村 雄之
--------------------	-------	------------------	-------

令和4年度事務事業評価シート（令和3年度決算）

事業コード	510 - 5 -	作成者氏名	森田 豊	連絡先	0833-72-1466
事務事業名	放置自動車対策事業	担当課	環境政策課		
予算費目	一般会計	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費
				目 5	公害対策費
第2次総合計画	基本目標	コード	項目	体系外	
	重点目標				
政策				第2次総合計画 頁	

対象	放置自動車に迷惑を被る市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	放置自動車により生じる弊害及び危険を除去することにより、快適な生活環境を維持する。
事務事業の概要	「光市放置自動車の発生の防止及び適正な処理に関する条例」に基づき、放置自動車対策協議会の運営並びに放置自動車の撤去及び発生防止に係る業務を実施。通常、放置自動車の状態確認等については所管部署が廃物判定基準に基づき認定するが、基準点数を満たしていても廃物として認定することに疑問が残る場合等に協議会を開催し、廃物認定を行う。		

事務事業の成果指標	単位	2年度実績	3年度			6年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
放置自動車撤去率【撤去台数／(前年度末残数＋発生台数)】	%	100	100 (0/0)	100	100.0%	100	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）				業務評価	重点業務	
		指標名	単位	2年度実績	3年度実績			4年度目標
1	放置自動車対策協議会運営業務	対策協議会開催回数	回	0	0	0	A	
		事業費	千円	0	0	54		
2	放置自動車撤去業務	放置自動車撤去台数	台	0	0	0	A	◎
		事業費	千円	0	0	0		
3	放置自動車発生状況調査	調査回数	回	2	2	2	A	○
		事業費	千円	0	0	0		
4		事業費	千円					
5		事業費	千円					
6		事業費	千円					
7		事業費	千円					
8		事業費	千円					
9		事業費	千円					
10		事業費	千円					
11		事業費	千円					
12		事業費	千円					
13		事業費	千円					
14		事業費	千円					
15		事業費	千円					
直接事業費の合計（千円） A						54		
職員人件費等		業務量（人工数）			0.15人	【業務評価】		
		人件費（千円） B			1,080			
人件費を含む総事業費（千円） A + B					1,080	A：達成済 目標準プラス見直し B：実施手法の要改善		
財源内訳		国庫支出金				C：目標準マイナス見直し 実施手法の見直し		
		県支出金				D：業務廃止・完了の意向		
		地方債				E：3年度を以て廃止・終了		
		その他				F：一時的に実施無し		
		一般財源			1,080			

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
放置自動車により生じる弊害及び危険を除去することにより、市民の快適な生活環境を維持する他、公共施設内における美観と機能を保持するためにも、放置自動車撤去業務を最重点化業務として設定した。また、公共施設の定期的な点検・見回りにより、放置自動車を発生させないための環境づくりを行うことも重要であるため重点化業務として設定した。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 近年では放置自動車の発生及び撤去台数は低水準を維持しており、令和3年度末の時点において把握されていた放置自動車はすべて撤去されている。今後も放置自動車が発生した場合は早期撤去に向けて、適正に業務を継続していく。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 本市全体において、現在まで早期発見・早期撤去の適正な流れが確立されており、事業構成は有効である。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 所管部署と本課が連携して事務を進めることにより、本課のみで対応する場合と比較して早期に発見しやすく、また、撤去までスムーズに進行していることから、現在の業務連携の形態は適切である。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	周田 祐子	最終評価責任者 （部長名）	森重 哲昌
--------------------	-------	------------------	-------

令和4年度事務事業評価シート（令和3年度決算）

事業コード	520 - 2 -	作成者氏名	宮本 忠重	連絡先	72-1470
事務事業名	3R推進事業		担当課	環境事業課	
予算費目	一般会計	款 4	衛生費	項 2	清掃費
第2次総合計画	基本目標	コード	項目	自然と都市が潤いゆたかに調和したまち	
	重点目標	1		自然を守り育てるために	
	政策	3		循環型社会の構築	
					第2次総合計画 151頁

対象	審議会・各委員会・協議会委員 ごみを排出する市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	ごみの発生抑制、再資源化、適正処理を促進し、各家庭から排出されるごみの量を抑制させることにより、分別意識、ごみ減量化意識の向上を目指す。
事務事業の概要	「人と自然が共生する 循環型社会推進都市 ひかり」を実現するため、3Rの考え方に基づき、「ごみの発生・排出抑制の推進」、「ごみの再資源化の推進」、「ごみの適正処理の推進」を基本方針とした様々な取組みを展開し、ごみ問題に理解を深める必要な情報提供を行うことにより、市民一人ひとりのごみに対する意識の向上を図る。		

事務事業の成果指標	単位	2年度実績	3年度			6年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
1人1日当たりのごみ排出量	g	951	942	910	96.6%	880	
リサイクル率	%	28.4	27.5	31.5	87.3%	33.6	
最終処分量	t	1,073	1,037	1,250	120.5%	1,190	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費(千円)				業務評価	重点業務	
		指標名 事業費	単位	2年度実績 2年度決算	3年度実績 3年度決算			4年度目標 4年度予算
1	廃棄物減量等推進審議会運営業務	会議開催回数	回	0	2	2	A	
		事業費	千円	0	0	153		
2	環境学習学校訪問・環境標語表彰業務 ●	実施した学校の割合	%	92	92	100	A	◎
		事業費	千円	275	254	265		
3	幼稚園、保育園児を対象とした出前講座 ●	実施した幼稚園・保育園の割合	%	0	0	58	A	
		事業費	千円	0	0	0		
4	ごみ減量等推進委員会運営業務	会議開催回数	回	0	1	2	A	
		事業費	千円	0	0	0		
5	資源回収支援業務 ●	延べ貸出回数	台	6	7	10	A	
		事業費	千円	0	0	0		
6	資源回収奨励金交付業務 ●	資源回収量	トン	481	457	675	A	○
		事業費	千円	1,004	954	1,425		
7	生ごみリサイクル促進業務（補助金交付） ●	補助金交付件数	件	29	16	40	B	○
		事業費	千円	223	139	169		
8	エコショップ認定業務 ●	認定店	店舗	11	11	12以上	B	
		事業費	千円	0	0	0		
9	リユース促進業務 ●	成立件数	件	29	18	50以上	A	
		事業費	千円	0	0	0		
10	ごみの行方&エネルギーの始まり見学ツアー実施業務 ●	参加者数	人/回	0	0	40人/2回	—	
		事業費	千円	0	0	14		
11	ごみ処理有料化の調査研究 ●	周南3市での協議回数	回	0	0	1	—	
		事業費	千円	0	0	0		
12	古紙売却事務	売却量	トン	552	578	600	A	
		事業費	千円	0	0	0		
13		事業費	千円					
14		事業費	千円					
15		事業費	千円					
直接事業費の合計(千円) A				1,502	1,347	2,026		
職員人件費等		業務量(人工数)		1.91人		【業務評価】		
		人件費(千円) B		13,673		A: 達成済 目標水準プラス見直し B: 実施手法の要改善 C: 目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し D: 業務廃止・完了の意向 E: 3年度を以て廃止・終了 —: 一時的に実施無し		
人件費を含む総事業費(千円) A+B						15,020		
財源内訳		国庫支出金						
		県支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源				15,020		

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
ごみに対する関心や意識の高揚を図るためには、長期的かつ継続的に取り組む必要があることから、小学4年生を対象に環境学習を実施し、ごみ問題に対する意識の高揚を図る。また自治会や子ども会が実施する資源物の回収量に応じ奨励金を交付することにより、資源物をごみとして排出せず再資源化を図る取組の支援や、家庭から排出される生ごみを処理機器を用い減量することにより可燃ごみの減量化を図る取組を支援する。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 令和3年度一人一日当たりのごみの排出量、リサイクル率が光市第2次廃棄物処理基本計画の中間数値目標を達成することができなかった。今後の取組として、これまで以上に市民、事業者等の意識の向上等を図りながら、ごみの総排出量の減少に向けた取組を行う必要がある。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 3Rの推進を図るためには、成果指標に掲げている、市民のごみに対する意識の向上をはじめ、ごみの排出量の削減と資源物の分別を周知し、リサイクル率を上げるが必要であり、事務事業がこれらを実現するための業務で構成されており、適切である。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 事務事業全体は、市が実施主体となり進めていくことが適切であるが、民間や市民団体と連携することで成果の向上が見込まれる業務については引き続き促進する。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	小山 昌義	最終評価責任者 （部長名）	森重 哲昌
--------------------	-------	------------------	-------

令和4年度事務事業評価シート（令和3年度決算）

事業コード	520 - 5 -	作成者氏名	宮本 忠重	連絡先	72-1470
事務事業名	じん茶処理管理事業		担当課	環境事業課	
予算費目	一般会計	款 4	衛生費	項 2	清掃費
				目 2	じん茶処理費
第2次 総合計画	基本目標	コード	4	項目	自然と都市が潤いゆたかに調和したまち 自然を守り育てるために 循環型社会の構築
	重点目標		1		
	政策	ド	3		
					第2次総合計画 151頁

対象	ごみを排出する市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	家庭から排出されたごみの処理を、効率的に行う。
事務事業の概要	じん茶車の燃料費、車検・整備、洗車場の維持管理、収集するための用具等の購入。また、牛島焼却炉の延命を図るため、塗装等のメンテナンス等の整備。		

事務事業の成果指標	単位	2年度実績	3年度			6年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）				業務評価	重点業務
		指標名 事業費	単位 単位	2年度実績 2年度決算	3年度実績 3年度決算		
1	じん茶処理庶務事業	事業費	千円	6,943	5,820	14,821	A ◎
2	牛島焼却炉維持管理業務	事業費	千円	0	500	1,148	A ○
3	土地借上料	借上土地面積	㎡	801	801	801	A
		事業費	千円	271	271	271	
4	中国総合通信局負担金	無線機台数	台	6	6	6	B
		事業費	千円	3	3	4	
5		事業費	千円				
6		事業費	千円				
7		事業費	千円				
8		事業費	千円				
9		事業費	千円				
10		事業費	千円				
11		事業費	千円				
12		事業費	千円				
13		事業費	千円				
14		事業費	千円				
15		事業費	千円				
直接事業費の合計（千円）				A	7,217	6,594	16,244
職員人件費等		業務量（人工数）			0.81人	【業務評価】	
		人件費（千円）		B	5,048	A：達成済 目標水準プラス見直し B：実施手法の要改善 C：目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し D：業務廃止・完了の意向 E：3年度を以て廃止・終了 —：一時的に実施無し	
人件費を含む総事業費（千円）				A + B		11,642	
財源内訳		国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源			11,642		

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
じん芥処理庶務業務が内容、金額ともに、じん芥処理管理事業の主たる業務であるため最重点化する。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。
	じん芥車等を適正に維持管理することで、一般廃棄物を円滑に処理することができる。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。
	一般廃棄物を適正に処理する上での必要経費で構成しているため有効である。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。
	一般廃棄物を適正に処理する責務は市にあるため妥当である。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	小山 昌義	最終評価責任者 （部長名）	森重 哲昌
--------------------	-------	------------------	-------

令和4年度事務事業評価シート（令和3年度決算）

事業コード	520 - 8 -	作成者氏名	宮本 忠重	連絡先	72-1470
事務事業名	牛島地区等し尿処理事業		担当課	環境事業課	
予算費目	一般会計	款 4	衛生費	項 2	清掃費
				目 3	し尿処理費
第2次 総合計画	基本目標	コード	4	項目	自然と都市が潤いゆたかに調和したまち 快適に暮らすために 安心の島づくり
	重点目標		2		
	政策		8		
					第2次総合計画 170頁

対象	牛島地区におけるし尿等を	意図 (対象をどのようにしたいのか)	適切に汲み取り、衛生環境を整える。
事務事業の概要	し尿貯留船の保全並びに延命化を図るため、船の係留方法等を見直すとともに、委託業者がより安全に収集できる方法を調査・研究する。		

事務事業の成果指標	単位	2年度実績	3年度			6年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
牛島し尿搬入量	kℓ	39.9	40.1	—	—	—	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）				業務評価	重点業務	
		指標名	単位	2年度実績	3年度実績			4年度目標
		事業費	単位	2年度決算	3年度決算			4年度予算
1	牛島地区し尿処理業務	収集回数（年間）	回	12	12	12	A	◎
		事業費	千円	4,743	4,743	4,748		
2	し尿貯留船及びバキューム車庫塗装等維持管理費	事業費	千円	1,206	940	1,232	A	◎
3		事業費	千円					
4		事業費	千円					
5		事業費	千円					
6		事業費	千円					
7		事業費	千円					
8		事業費	千円					
9		事業費	千円					
10		事業費	千円					
11		事業費	千円					
12		事業費	千円					
13		事業費	千円					
14		事業費	千円					
15		事業費	千円					
直接事業費の合計（千円）				A	5,949	5,683	5,980	
職員人件費等		業務量（人工数）			0.15人		【業務評価】	A：達成済 目標水準プラス見直し B：実施手法の要改善 C：目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し D：業務廃止・完了の意向 E：3年度を以て廃止・終了 —：一時的に実施無し
		人件費（千円）		B	940			
人件費を含む総事業費（千円）				A + B		6,623		
財源内訳		国庫支出金						
		県支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源				6,623		

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
牛島から発生するし尿の処理については、地区住民が快適に暮らせるために必要不可欠である。また、し尿の処理をする上で、ミニバキューム及び車庫、貯留船の維持管理についても重要である。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 し尿を円滑に処理することにより、生活環境の保全に努めることができる。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 人口減少に伴い、搬入量が減少しても支援は必要である。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 離島支援の一環として実施主体が市であることは妥当である。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	小山 昌義	最終評価責任者 （部長名）	森重 哲昌
--------------------	-------	------------------	-------